

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【公開番号】特開2000-310482(P2000-310482A)

【公開日】平成12年11月7日(2000.11.7)

【出願番号】特願平11-120261

【国際特許分類】

F 26 B 3/00 (2006.01)

F 26 B 7/00 (2006.01)

【F I】

F 26 B 3/00

F 26 B 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月16日(2005.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 脱水スリットを有する二軸押出機に水を含むポリマーを供給し、該押出機内において上記ポリマーを供給側から押出側に移動させつつ加圧しつつ加熱し、その後、該押出機の押出側端部において該ポリマーを高圧領域から低圧領域に押し出すことにより該ポリマー中の水分を瞬時に気化させて該ポリマーを乾燥させることを特徴とするポリマーの回収方法。

【請求項2】 上記押出機は上記脱水スリットが形成された位置よりも押出側にベントをもたず、かつ、上記低圧領域に押し出される直前において上記ポリマーの含水率は5～40重量%である請求項1記載のポリマーの回収方法。

【請求項3】 上記二軸押出機のスクリュウは、長さ(L)と径(D)との比(L/D)が5～25である請求項1または2記載のポリマーの回収方法。

【請求項4】 上記押出機の先端内部の圧力が0.5～10MPaGである請求項1乃至3のいずれかに記載のポリマーの回収方法。

【請求項5】 下記式により表される上記低圧領域への押し出し時におけるダイス孔通過時のポリマー線速は0.03～1m/sである1乃至4のいずれかに請求項記載のポリマーの回収方法。

(ダイス孔通過時のポリマー線速)

$$= (\text{ポリマー押し出し容積流量}) / (\text{ダイス孔全開孔面積})$$

【請求項6】 上記低圧領域の圧力は0～0.1MPaGである請求項1乃至5のいずれかに記載のポリマーの回収方法。